

製品名: SnoN ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18058**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	77kDa

抗原情報

遺伝子名	SKIL
別名	SKIL; SNO; Ski-like protein; Ski-related oncogene; Ski-related protein
遺伝子 ID	6498.0
SwissProt ID	P12757
免疫原	抗血清はヒト SKIL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 616-665

背景

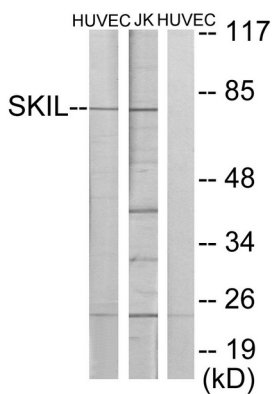
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、形質転換成長因子 β (TGFB) を介して細胞の成長と分化を制御する SMAD 経路の構成要素です。リガンドが存在しない場合、コードされているタンパク質は TGFB 応答性遺伝子のプロモーター領域に結合し、核内リプ

レッサー複合体をリクルートします。TGFBシグナル伝達により、SMAD3が核内に侵入し、このタンパク質を分解することで、これらの遺伝子が活性化されます。この遺伝子には、3つの異なるアイソフォームをコードする4つの転写産物バリエーションが見つかっています。[RefSeq提供、2011年10月],機能:細胞外シグナルに応答して細胞分裂または分化を制御する役割を果たす可能性があります。類似性:SKIファミリーに属します。サブユニット:SMAD2、SMAD3、およびRNF111と相互作用します。組織特異性:SNONおよびSNOAアイソフォームは広く発現しています。最も高い発現は骨格筋で見られ、次いで胎盤と肺です。心臓、脳、脾臓における発現が最も低い。アイソフォームSNOIの発現は骨格筋に限定されている。

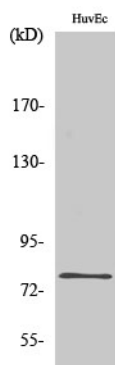
研究分野

がん、腫瘍タンパク質 / 抑制因子、腫瘍抑制因子、エピジェネティクスと核シグナル伝達、核シグナル伝達経路、SMAD

画像データ



SKIL抗体を用いたHUVECおよびJurkat細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000に希釈したSnoNポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタンブロット分析。